

定例会最終日・採決結果



米原市民報

日本共産党米原市議員
山脇正孝 Tel.52-1093
日本共産党米原市議員
藤田正雄 Tel.55-1527

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

国保税の連続引上げ反対

3月26日定例会最終日、令和7年度一般会計予算など執行部提出34議案と議会提出1件の討論・採決が行われました。賛否が分かれた国保関係の議案について、藤田議員が反対討論を行い、振角議員が賛成討論を行いました。財産処分議案は旧米原庁舎跡地の処分に関する議案で、磯谷議員が反対討論、矢野議員が賛成討論を行いました。日本共産党米原市議団は賛成しました。賛成理由等は次号以降に報告します。

藤田議員の反対討論

引上げの原因は県の統一化

今回の予算は令和9年度（経過期間11年度）に予定されている県内の保険料の統一化のために県が示す標準保険料に合わせるための保険料率を前提とした予算となっています。

米原市では米原市の国保基金を活用して県が示す標準保険料を引き下げ5.3%増にとどめるとしています。しかし令和10年度以降は市の基金も無くなり、県の示す統一保険料に収れんされます。

しかし、県の保険料統一化は法的な根拠はなく、今実施しているのは大阪府と奈良県だけです。

医療提供体制に地域間格差があり統一化の実施を見送る県も出てきています。

保険料の県内統一化の大きな問題は、市町ごとの医療水準の差が保険料に反映されない問題です。市町の医療水準は異なっており、医療にアクセスしにくい市町も医療機関が多い市町の医療費に引張られ、高額な保険料とならざるを得ません。今回の米原市の場合も1人当たり医療費も令和5年度と令和6年度比較

で約4%下がっています。しかし滋賀県全体では医療費が1%伸びるとして市町の所得や人口構成を基準に納付金を計算し標準保険料を各市町に示しています。

保険料（税）の設定は現在、市町の権限です。しかし統一化がなされれば、この権限は県に移ります。今後の各市町の納付金の基礎となる医療費の推移も県の考え方によるものとなります。

国保負担が収入の12%に

条例案の説明の中でいくつかのモデルケースが説明されています。年収380万円の4人家族で保険料が46千円。負担率は年収の12%となっており、物価も高騰し、その他の負担も上がる中で耐えられない状況と考えます。国保税の滞納世帯も増えているのも当然と考えます。

また、低所得者多い国保世帯の中で、保険料軽減制

議員名	会派名	議案第7号 令和7年度国保特別会計	議案第18号 国保税条例の一部改正	財産の処分について
山脇正孝	日本共産党市議団	×	×	○
藤田正雄	日本共産党市議団	×	×	○
磯谷晃	天翔クラブ	○	○	×
鹿取和幸	天翔クラブ	○	○	×
今中力松	天翔クラブ	○	○	○
矢野邦昭	天翔クラブ	○	○	○
中川松雄	天翔クラブ	○	○	×
鏑田明	天翔クラブ	○	○	×
堀江一三	政策研究会マイバラ	○	○	○
宮川泰	政策研究会マイバラ	○	○	○
山本克巳	政策研究会マイバラ	議長	議長	議長
吉田周一郎	政策研究会マイバラ	○	○	○
川嶋眞一	無会派	○	○	○
藤本敦子	無会派	○	○	○
振角大祐	無会派	○	○	○
細野正行	無会派（公明党）	○	○	○
結果		可決	可決	可決